

創立50周年



山王小だより

男子213名 女子204名 計417名

令和8年2月7日
狭山市立山王小学校
学校だより No.37

今週(2/2~2/6)の山王小の様子

校長 市川 博康



3年生 給食センター
学校栄養士(本校職員)が好き嫌いなく食べてほしいとの思いから、紙芝居を用いて食育の指導をしました。



学年	性別	1km	2km	3km	4km	5km	6km	7km	8km	9km	10km
3年	男	1:15	2:30	3:45	5:00	6:15	7:30	8:45	10:00	11:15	12:30
3年	女	1:20	2:40	3:55	5:10	6:25	7:40	8:55	10:10	11:25	12:40
4年	男	1:10	2:20	3:30	4:40	5:50	7:00	8:10	9:20	10:30	11:40
4年	女	1:15	2:30	3:45	5:00	6:15	7:30	8:45	10:00	11:15	12:30
5年	男	1:05	2:10	3:20	4:30	5:40	6:50	8:00	9:10	10:20	11:30
5年	女	1:10	2:20	3:30	4:40	5:50	7:00	8:10	9:20	10:30	11:40
6年	男	1:00	2:00	3:10	4:20	5:30	6:40	7:50	9:00	10:10	11:20
6年	女	1:05	2:10	3:20	4:30	5:40	6:50	8:00	9:10	10:20	11:30

あなたは、変わらぬ運動量を保ち、
記録を伸ばしたことを賞し褒めます。
令和7年 月 日 狭山市立山王小学校

6年生 体育・持久走

小学校高学年から中学生にかけて、心肺機能が特に高まる時期に、持久走がとても効果的です。5分間、一定のペースで走り続けていました。



2年生 体育・縄跳び

縄跳び学習カードをもとに、いろいろな技に挑戦していました。交差跳びや二重跳びなどの難しい技に挑戦している子供もいました。



4年生 算数

小数×1位数の計算の仕方を、数直線を用いて考えていました。

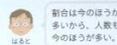
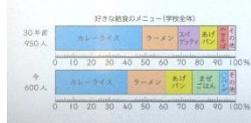


1年生 生活科

昔遊びの単元で、竹馬、竹とんぼに挑戦していました。1年生の子供たちは、失敗しても繰り返し挑戦していました。



30年前と今の、あげパンの人数について、はるとさんは、右のようにしています。はるとさんの考えは正しいですか、正しくないですか、ことばや式を使って、その理由も説明しましょう。



はると

新巻は今のほうが多いから、人数も今のほうが多い。

5年生

帯グラフからデータの特徴を読み取り、問題に対する結論を自分で考え、説明をする授業を行っていました。

風の子学級

風船を布で激しくこすり静電気を発生させ、溜まった後、「ビリッ！」と衝撃が走る実験です。目に見えない電気の実感しました。



委員会活動（栽培委員会）
 卒業・入学を迎える春に向けて、今年最後の花植をしました。花壇や昇降口が色とりどりで明るくなりました。



入学準備説明会
 令和8年度入学予定の保護者説明会が行われました。校外役員の方等、ありがとうございました。

★講話集会【2/3（火）】

○生活目標の話【健康にすごそう！：内野養護教諭】



洗った手の正しいふきかたについて、言葉だけではなく、大型画面を用いて子供たちに説明をしました。



○校長の話【節分、立春、まどめの月】

「お弁当の日～！」

「2月4日は何の日？」の子供たちの答えでした。お弁当がとても楽しみなのがよく伝わってきました。

2月4日は立春。立春の前日が「節分」です。昔は季節の変わり目に災い（病気や災害）をもたらすと言われて、その邪気（目に見えない悪い気）を鬼と見立てて豆で追い払ったり、鰯を食べたり、飾ったりして（鰯を焼く際に出る煙や強い匂い）鬼を寄せ付けなかったりしたそうです。2月3日の節分の日には、給食で鰯が出ました。体の中にいる悪い鬼（邪気）を追い払うという意味が込められています。

また、今の学年が終了するまであと30日と少し。「ありがとう」と言ったり、言われたりする行動を心がけよう。また、自分たちの教室を日頃から美しく使用して、次の学年に渡そう。そして、自分たちのクラスは、担任の先生がいなくても、自分たちでできるようにしましょう。これが1年間のまとめだと思っています。

以上のような話をしました。

- ・『ありがとう』を増やす。
- ・教室を美しく整える。
- ・自分たちでやるべきことを進める。

研究発表会【1/28】

1月28日（水）に、狭山市教育委員会から委嘱された**学校研究発表会**が行われ、狭山市内、市外から約100名の教職員が参加しました。

学校の教員は、子供たちによりよい教育を行うために、継続的に研修を行うことが求められ、教育公務員特例法において、「絶えず研究と修養に努めなければならない」と定められています。また、地方公務員法でも、任命権者が計画的に研修を実施することとされています。これらの法令は、教員の質を維持、向上されることを目的としています。

本校の行っている研修は、子供たちへの学習指導の充実はもちろんのこと、**子供たちが学習の中で主題に迫り、主体的に考え、他者と関わりながら学びを深めていく姿を目指して**取り組んでいます。

研究授業は、国語（6の1）、総合的な学習の時間（3の1）、道徳（4の1）、体育（4の2）、生活単元（風の子学級）の授業が行われました。



研究授業後の研究協議会の様子
他校の教職員と子供たちにとって、よりよい指導方法について意見交換をしました。

各ブース（展示、発表用のスペース）では、山王小の教職員が参観者に対話をしながら研究の成果を説明しました。